

ミラクルソル工法 普及へ技術講習会

協会 構造や意義など説明

ミラクルソル協会(原

裕理事長)は19日、広島

市中区のメルパルク広島

で、環境の保護・保全、

創出へとつながる新素材

として各方面から注目を

集めている「ミラクルソ

ル工法」の技術講習会を

開いた。同協会は、ガラス廃棄

物の再資源化を目的に、

板ガラスや空きびん、自

動車のガラス廃材等を原

料として開発した新素材

「ミラクルソル・ゼオラ

イト化ミラクルソル」を、

建設分野に有効利用する

ために新技術・新工法を

提案、活用。経済性、安

全性を含め合理的な設計

施工が可能という優れた

特徴を持つ同工法の普及

を図ることで環境の保

全、保護さらに創出へと

つながっていくことを目的

としている。

技術講習会では、中国

地方整備局の小椋義弘企

画部技術調整管理官が公

共事業に関する最近の話

題と題して、中国地方整

備局における公共投資の

推移や工事、業務におけ

る入札・契約制度、談合

防止対策などの取り組み

について講演。

引き続き、原裕理事長



「写真」が「ガラス廃材

を再資源化したミラクル

ソルのクラスター構造、

環境緑化・環境土木工法

への有効利用」、同協

会顧問で佐賀大学低平地

研究センター長の荒木宏

之児教授が「総合水質管

理における発泡廃ガラス

『ミラクルソル』の意義

について説明。その後、

活発な質疑応答が行われ

るなど、同工法に関する

関心の高さを伺わせた。